

初日だけで予定数の倍近い申し込み 特殊詐欺の被害防止に役立つ 通話録音装置無料貸し出し

急きよ貸出数の大幅増を検討へ

電話やSNSなどで言葉巧みに語りかけるなどして、大金をだまし取る特殊詐欺が後を絶ちません。

市内でも、昨年上越警察署に届けられた特殊詐欺の被害は26件、被害額は9,825万円にも上っており、前年よりも被害件数が増加しています。

このような状況を踏まえ、市では、通話録音装置を、高齢者のみの世帯に無料で貸し出すことを決めました。この装置は、電話がかかってくると「この電話は録音されています」と警告メッセージを流し、通話内容を録音する装置です。特殊詐欺などの犯人は、自分の声が録音されることを嫌うため、被害の防止に有効とされています。

被害の増加を背景に、この貸出制度への反響は大きく、なんと申し込み初日の6月14日だけで予定台数の100台を大きく超える約180件の申し込みがあったとのこと。

そこで市は急きよ貸出数を大幅に



写真は一例です。実際のものとは異なります。

増やすことを検討することとし、申し込みの受付を継続することとしました。

設置はごく簡単とのことですので、ぜひお申し込みください。

この制度は、以前、試験的に実施していましたが、その後しばらく取りやめていました。

そこで、平良木議員をはじめ党議員団が委員会等で復活を強く求めているものです。

責任割合が1：1というのはいかがか

給食アナフィラキシー事故で上野議員が指摘

11日の文教経済常任委員会の審議で上野議員は、総括質疑に続いて、昨年9月に発生した給食の誤食によるアナフィラキシー発生人身事故の件について追及しました。

この件で市は、給食調理業務受託事業者と市が当事者(保護者)との間で和解が成立したとして、市と事業者がそれぞれ約50万円ずつ当事者に支払うということが提案されています。

この事故ではいまだに全容解明がされていないという指摘がある中で、唐突に和解の提案がされました。しかもその和解の責任の割合は、アレルギーの原因となる食材を提供したことだけを基にしています。

そこで上野議員は、「事故がなぜ起きたかということだけではなく、当該児童の誤食後にどのような対応をしたのかが問われるのではないか。この児童がトイレに駆け込んだ際に付き添わず放置していた点、苦しみながら戻ってきて異常に気づかなかつた点、その後すぐにエピペンを打たなかった点、救急通報まで時間がかかった点など、学校側のその後の責任が大きいのではないか。特にエピペンを打つまでに18分もかかったが、東京都調布市の例では14分後にエピペンを打ったにもかかわらず死亡したことを考えると、その責任は大きい。また、その後この児童がPTSDで苦

しみだことも考慮すべきではないか」と強くただしました。これに対して教育委員会



は、「万が一の可能性とあった仮定による責任割合の交渉はしておらず、あくまでも原因の事実を基に交渉を行って、双方納得のもと、責任割合を1対1とした。なお、PTSDに相当するとは推測しているが、医師の診断書が出されていないので報告書にも記載していない」とあくまでも最初の提案に固執しました。

お詫び

この議員団ニュースは、「しんぶん赤旗日曜版」への折込を中心に発行しておりますが、6月9日付と17日付の「しんぶん赤旗日曜版」は

合併号となり17日の週は発行されませんでしたので、この議員団ニュースも17日付けを休ませていただきました。

そのため、18日と19日に行われた3人の党議員の一般質問の内容を、事前には紹介できませんでしたが、誠に申し訳ございません。この場

をお借りしてお詫び申し上げます。

次号以降で実際に行った質問の内容とその答弁を詳しく紹介いたします。

なお、「しんぶん赤旗日曜版」は、日曜日が5回ある月には、そのうちの1回を合併号として発行しております。ご了承ください。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.833 2024年6月23日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>